

始良・伊佐地区生涯学習推進大会

【活動発表】



◆湧水町の田中一典さんは、20歳の時に定年後の生活を有意義に過ごすためにと登山と華道を始められました。公民館講座で学んだ竹細工づくりや湧水町の観光ボランティアガイドにも取り組まれており、人生設計を描き、自己実現に努めてこられた活動を発表されました。◆霧島市の「きりしまっ子立志塾～イングリッシュ・サマースクール～」は、夏休みに中学生40人で行ったALTや外国語活動支援員との英語漬けの2泊3日の研修について発表しました。また、自作の英語劇も行いました。◆始良市の瀬上征一さんは、退職後、公民館等のパソコン講座やハーモニカ講座を受講し、講座修了後も同好会に入って、演奏会やボランティア活動等を行うなど、積極的に生涯学習に取り組まれている様子を発表。ハーモニカの演奏も披露されました。◆伊佐市の伊佐農林高等学校地域応援団は、「学校で学んだ知識や技術を生かして地域のために何かできないか」という思いから始まったボランティアクラブで今年5年目を迎えます。地域の清掃活動、幼・小・中学生への食農教育指導、伊佐市及び農産物のPR活動など、様々な「地域を元気にする」活動の様子を発表しました。

【講演】

演題：アフリカの叡智に学ぶ

講師：親指ピアノ、ゴッタン演奏家

サカキマンゴー 氏



アフリカ各地の人々の暮らしや生活の様子など、現地調査で実際に見聞きされたことを軽妙な話術（鹿児島弁）でお話しいただきました。

音楽をやりたければ、「楽器を買ってください。」ではなく「楽器の作り方を教えてください。」と親に頼み、自分で楽器を作って音楽を楽しむ子どもたちの話や、講演の前に食べたお弁当の空箱と輪ゴムで作った楽器での演奏等から、自分のやりたいことをするために、自分でいろいろと考えて工夫したり学んだりすることは楽しい、そして、これこそが生涯学習の本来あるべき姿なのではないかと改めて考えさせられました。ポリリズムを実際に体験したり、親指ピアノやゴッタンの演奏も聴いたり中身の濃い、楽しい講演に、参加された方からも「いっぱい笑って、たくさんの元気をもらいました。」「子どもたちにも聞かせたいです。」等の感想が寄せられました。

